

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画空港政策課広報係
☎76-5409

アラカルト

久賀小で福祉講座が開催

1月31日、久賀小では障害者スポーツを通じて、障害に関する具体的な知識を得ることで、共に生きる社会の実現のために自分たちが何をすればよいのか考えることを目的に福祉講座が開かれました。

児童たちは障害の有無ではなく、諦めないことや努力することの大切さを肌で感じ取れた講座となりました。

車いすバスケットボール体験



講師 **萬崎 勲** 氏
バスケットボール
元パラリンピック日本代表選手

自身の障害を忘れるくらい夢中になれた…

若いときに仕事上の事故で下半身が不自由になり、落ち込んだ時期がありました。歩けなくなった自分が、車いすの人たちと出会えたことで少しずつですが前向きに考えられるようになりました。そこで車いすバスケットボールとも出会い、自分自身の障害を忘れるくらい夢中になることができました。障害の有無にかかわらず勝つ喜びのために練習し努力を重ねること、目標を持って諦めないことが大事だと改めて気付かされました。

※講演会の概要の一部を掲載しています。



人権について考えるきっかけに

2月4日、コミュニティプラザ文化ホールにおいて、地域人権啓発活動活性化事業の一環として「みんなで人権を考える集い in 多古」が開催されました。多古中・多古高吹奏楽部合同による演奏では、ダンスなどが取り入れられ観客の目も楽しませてくれました。また、法務局匝瑳支局管内に出展された多古中2年生3人の人権作文が披露されました。その中でも、全国中学校人権作文コンテスト匝瑳地区大会最優秀賞並びに千葉県大会奨励賞を受賞した、越川太陽さんは「今、考えること」と題し、障害のあるお兄さんとの普段の生活から感じた体験から「僕は、障害のある兄からいろんなことを考えるきっかけをもらった。人が人として当然持っている権利は、その人らしさを受け入れて、理解することで初めて守られると思う」と発表してくれました。

最後に、元フリーアナウンサーの道志真弓さんが「生きているって幸せ」との演題で講演を行いました。不妊治療の末に授かった娘さんが難病のためにわずか8歳で亡くなるまでの育児の様子を、自身の経験から命の重さや感謝の心、生きることの素晴らしさについて伝えてくれました。

人権が尊重されるためには、差別や偏見のない社会をつくっていくことはもちろん、私たち一人ひとりが知識を深め、考え方や行動を見つめ直すことが求められています。



越川太陽さん

道志真弓さん

毎月1回人権に関する相談を行っています。
詳しくは住民課までお問い合わせください。
お問合せ●住民課住民係 ☎76-5401

多古中央病院から

スマートフォン有害性の

文/国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

私たちが子どもの頃、病院の待合室に週刊誌や絵本などが置かれていて待ち時間に読んでいました。最近では本を読む人がめっきり減ってきているのではないのでしょうか。その代わりにスマートフォン(以下、スマホ)の画面に集中する人が増え、大人だけではなく、まだ小さな子どもでさえも熱心に操作していることがあります。

多くの人がスマホの小さな画面で、動画やアプリなどを楽しんでいます。視聴している動画の中には瞬きする間もないくらい



のスピードで展開し、耳に残るサウンドを使ったものが多く、大抵の人に与える刺激が過剰になります。そのような刺激の強い動画を長時間視聴し続けると、目が疲れて筋肉が凝り固まってしまい、視力の低下を招く恐れがあります。また、画面に熱中してしまうことで周りの人とのコミュニケーションが減り、社会性や感受性も低下する恐れがあります。

スマホ自体の歴史は新しく、研究が進められている中で、小さな子どもが使うことへの悪影響については徐々に知られてきました。小さい頃から使い続けると、感情の起伏が激しく怒りっぽくなり、学習する意欲や能力が低下する可能性があります。その影響は使い始める年齢が幼ければ

スマホって便利だけど、正しく使わないと体に影響があるんだね



【病院便り】
多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などで対応できないこともあるため、受診前に、必ず確認の電話をお願いいたします。
☎76-2211

俳句

指切りの子はうちとけて薄氷
薄氷や地蔵の空のあをあと
白梅や一つ仕事の終へし朝
名を呼べど間に溶けたる恋の猫
散歩する犬も春待つ仲間かな
逢う友が花粉症とて浮かぬ顔
春の猫夕べ汚れてもどりけり

短歌

大寒も無事に越え来て立春の朝の光りをつつしみ仰ぐ
山茶花の垣に小鳥は花びらを一片くはへ嬉し気なりぬ
娘の家に曾孫玄孫と初日見ぬ八十六歳のすがしき朝
まなじりに涙をためて答へる稀勢の里閨初優勝に
在りし日に植えよと呉れし寒菊に妹の名つけて冬囲いする
幼な名に呼び合ひ悪態吐き合へる同級会は繕ふことなく
大根の種時くわれに付きて来し影法師いつしか足元にいる

- | | |
|-----|-------|
| 水戸 | 鈴木やすし |
| 南名 | 木内慶子 |
| 北中 | 鈴木裕 |
| 田町 | 渡部健 |
| 高根 | 平山富士子 |
| 喜多 | 瓜生恒子 |
| 仲町 | 香取省吾 |
| 本町 | 浅野婦久 |
| 染井 | 佐藤登久 |
| 南玉造 | 宇井ふみ |
| 南玉造 | 秋山絢子 |
| 島 | 星野みつ |
| 南玉造 | 越川節子 |
| 大高 | 藤井たか |

文芸コーナー